

衆議院議員総選挙結果に関する会頭コメント(2000年6月26日)

今回の総選挙は、21世紀の日本をどう位置付けていくのか大変に重要な選挙であり、この中で連立政権与党が安定多数を上回る議席を獲得されたことは、21世紀に向けて安定した政局を望んだものと思います。

この上は、早期に新内閣を発足させて目前に迫った沖縄サミットを迎えるとともに、強力なリーダーシップで景気の自律回復への動きを着実なものとした上で、そして財政再建に向けて取り組んで頂きたいと思います。

21世紀の我が国を展望したとき、「行政改革」と「規制緩和」は時代の流れであり、避けて通ることは出来ず、その実現のためには、官僚体質から脱却をして、政治主導で取り組んでいかなければなりません。政権政党におかれては、小さな政府を実現し、公正で自由な環境を整えて経済を活性化させ、物価・税金が安くて暮らしやすい日本の構築を目指して頂きたいと思います。

地元から選出された代議士の皆様方には、改めてご当選を祝福しますとともに、今後とも京都創生のため特段のお力添えを頂きますようお願いいたします。

京都商工会議所
会頭 稲盛和夫